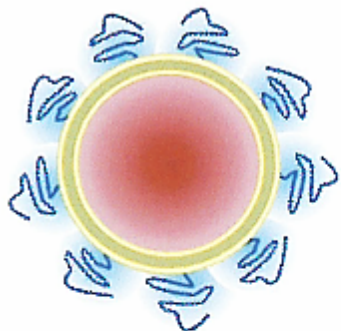


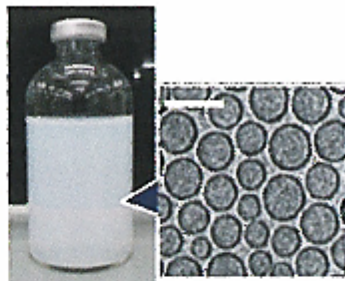


創剤（リポソーム化）による新薬の開発

プロトタイプ製剤



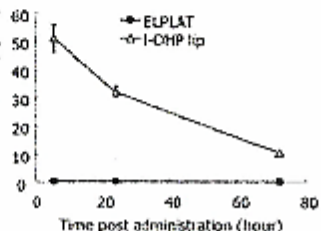
工業化研究



効率的な研究開発戦略

In vivo検討

体内動態・薬効・安全性試験



<http://www.tokushima-u.ac.jp/ph/faculty/labo/ykz/>

～研究内容～

薬物の体内動態を精密に制御し、“必要な時に、必要な場所に、必要な量だけ”送達すれば、高い薬理効果の獲得と副作用の軽減が実現され、最高の薬物治療を行えます。

その理想を実現すべく、キャリア(薬物運搬体)によるDDS(Drug Delivery System)の開発を目指しており、30年に渡るリポソームDDSの研究開発によって、リポソーム化技術・体内動態評価のノウハウを蓄積しています。

産業院においては、企業からの求め(開発候補化合物の提供)に応じ、製造時の再現性が高く、滅菌が可能で、工業的なスケールアップに耐えるリポソーム製剤を開発するとともに、GLP前臨床試験に繋がる小動物での薬物動態、薬効、毒性試験を行います。

氏名: いしだ たつひろ
石田 竜弘

研究分野: 薬剤学、薬物動態学、DDS

徳島大学産業院事務局

TEL : 088- 656-5087

E-mail : info.sangyojin@tokushima-u.ac.jp

